廣福寺だより

2022年6月

広福寺世話方・地区総代の皆様
後列　渡辺忠　小林頼雄　松宮一郎　加藤達男　戸叶精一　本多哲夫　竹之内昇　松居幸彦　八子和之
前列　武石豊　唐澤仁　近山統一郎　心光寺　広福寺住職　広福寺当院　平岡悟　熊谷一雄　本間稔
敬称略

世話方・総代の皆さま

いつも広福寺のためにお力添えをいただいている世話方、地区総代の皆さまです。月の会議のあとの写真です。

平成十二年の広福寺本堂・庫裏の再建という大事業に至るまでの大変なご尽力をいただき、さらには平成二九年の広福寺での行事、親鸞聖人七五〇回大遠忌をお勤めるまで、中心となって長らくご活躍いた方々が、ご高齢もあり、ここ数年で々と引退をされました。

特に世話方の皆さまは全員が交替となりした。これまでのひとかたならぬ寺への貢献に、胸がいっぱいになる思いです。より感謝を申し上げます。

さて、現在は来年の本山佛光寺の慶讃法に向けて準備が始まっています。団体参も計画されております。新しい世話方のさまを中心に、節目の年に向けて進んできたいと存じます。本山では、広福寺の五〇回大遠忌においでいただきました、覚ご門主がお待ち下さいます。ぜひご参下さい。

今回は、燕市中島の大蓮寺様とともに、緒のバスで団体参拝に向かう予定です。方の寺の当院が責任者として引率する予で、旅行プランを検討中です。ご期待下い。

三いさ

次だす大たい

心ごま

加真七行皆拝会

一定両

梵鐘講
本山差向布教

徳誓寺　福井憲雄師

三月九日（水）に梵鐘講・本山差向布教が行われました。今年は三条市八幡町・徳誓寺ご住職、福井憲雄師がお越しくださいました。以下は要旨です。

かなしきかなやこのごろの
和国の道俗みなともに
仏教の威儀をもととして
天地の鬼神を尊敬す

『正像末和讃』

今ほどいただきましたご讃題は昨年の御正忌報恩講にてご門主様がお話しくださった、親鸞聖人ご制作の正像末和讃のおことばです。この和讃から見えてくるのは、仏教を聞きながらも自分の欲や願いをかなえてほしいという思いを断ち切れずにいる私たちの姿というものです。それは決して聖人以外の他者のことを指したものではなく、「親鸞自身もそういう存在なのだ」という悲歎です。

仏法に出遇いながらも事実を受けとめず、仏法によって欲を満たそうという心のことを外道と申します。私たちの思いは常に外向きです。外に何かを求めようとする。どうしてこういう苦しい思いをしなくてはならないのか、自分の身の回りの境遇を良くしたい、願いをかなえてほしい、そういったものは仏教の教えではありません。

また私たちがそういう外道の有様だということも、仏教に触れないと見えてこないのです。外道というのはいわば現実逃避なのです。外にばかり求めていて本当の自分自身の姿というものに向き合えていないということです。

一昨年から新型コロナが流行しだしまして日々の生活もガラッと変わってしまいました。外に出かけていくという機会も減っていたところに、京都にある仏教書のお店から巣ごもり読書はいかがですかという案内が来ました。おすすめ図書の中に「お寺の掲示板」というものがありました。著者は江田智昭さんという方で、浄土真宗本願寺派のお坊さんです。お寺の門前に掲げられたハッとするような標語の傑作を収録したものです。

その中にこんなことばがございました。

「お前も死ぬぞ（釈尊）」。なんともストレートでドキッとしますが、これは間違いない事実なんです。いつかは死んでいかなければならない。事実を突きつけられてドキッとすることはいかに日常のなかで死という事実から目を背けてきたかということです。まさしく現実逃避です。死にたくないと思うのが私たち。ですが現実には老いるし病にかかるし、死んでいく。そういう事実にしっかりと向き合ったときはじめて、生きるということを深く実感し考えていくようになるのではないでしょうか。

恩地日出夫という映画監督に「蕨野行（わびのこう）」という作品があります。江戸時代の棄老伝説を映画化したものです。その中で主人公を演じた市原悦子さんは、「死んでいく役を演じて気づいたことは、死を考えるということは今を一生懸命生きるということです。」とおっしゃいました。考えて出てきたことばではなく、実感としてあらわれたことばです。

死を隠さず向き合えば、今を一生懸命生き、生を実感するということが見えてくる。そういう事実を事実として私たちの上にあきらかにしてくださるはたらきを大悲というのです。現実を見据えて生きていきなさいよという歩みをもたらしてくれるのです。

現実、事実を見ようとしないで外にばかりを目が行く、外にばかり原因を求めている有様を外道と申しました。本山佛光寺の夏季人生講座にお越しいただいた本明義樹先生というお方は、そういう人が増えてきた世の中を「不寛容社会」と申しました。人に原因を求めすぎて他人を許せない社会です。ＡＣ（公共広告機構）のＣＭで相田みつをさんの詩が使われたことがございました。交差点で肩同士が

ぶつかったのか、お互いにらみ合う場面でこういう詩が流れます。

セトモノとセトモノと
ぶつかりっこするとすぐこわれちゃう
どっちかやわらかければだいじょうぶ
やわらかいこころをもちましょう
そういう私はいつもセトモノ

まさしく外に目が向いている私たちですね。肩同士がぶつかったのは片方だけが悪いのではなくどちらも悪いはずなのに、相手に原因を求めている私たち。やわらかい心を持ちましょうと相手に語りかけるこの私は、どうなのだということです。セトモノじゃあどうなのだということです。セトモノの私を差し置いて外ばかりを気にする私たち。自分は大丈夫、自分は問題ないという間違った認識で生きているのが私たちでしょう。そうした私たちに、事実に目を向けなさいよ、現実をしっかり見定めていますかとの促しを与えてくださるのが、阿弥陀如来の大悲のはたらきであります。

金子大栄という方は「念仏とは自我崩壊の響きであり、自己誕生の産声である」という ことばを残されました。大悲に触れ、本当の私に出遇う、気づかせていただくということが念仏申すということの意味合いなのでしょう。

法話より一部抜粋

涅槃会・彼岸会

三月十五日に涅槃会（ねはんえ）、二十一日に彼岸会がそれぞれつとまりました。

涅槃会とはお釈迦様のご命日の法要です。お釈迦様が亡くなられた時の様子を描いた「釈迦涅槃図」の掛け軸の前に檀を作り、仏説阿弥陀経のおつとめをしました。参拝者には涅槃だんごをお配りしました。これも昔からの習わしです。

彼岸会には「二河白道図」（にがびゃくどうず）の軸を掛けます。阿弥陀様の導きによる私たちの往生の道が、煩悩の大河に渡された白い道として描かれています。

寒い日もあった中、大勢の方にお参りいただきました。大変ありがとうございます。

世話方交代

広福寺護持発展のため麓地区の世話方を長年務めていただいた堀内拓氏、近山富士弥氏が退任されました。後任をそれぞれ熊谷一雄氏、近山統一郎氏にお願いいたしました。

熊谷　一雄氏

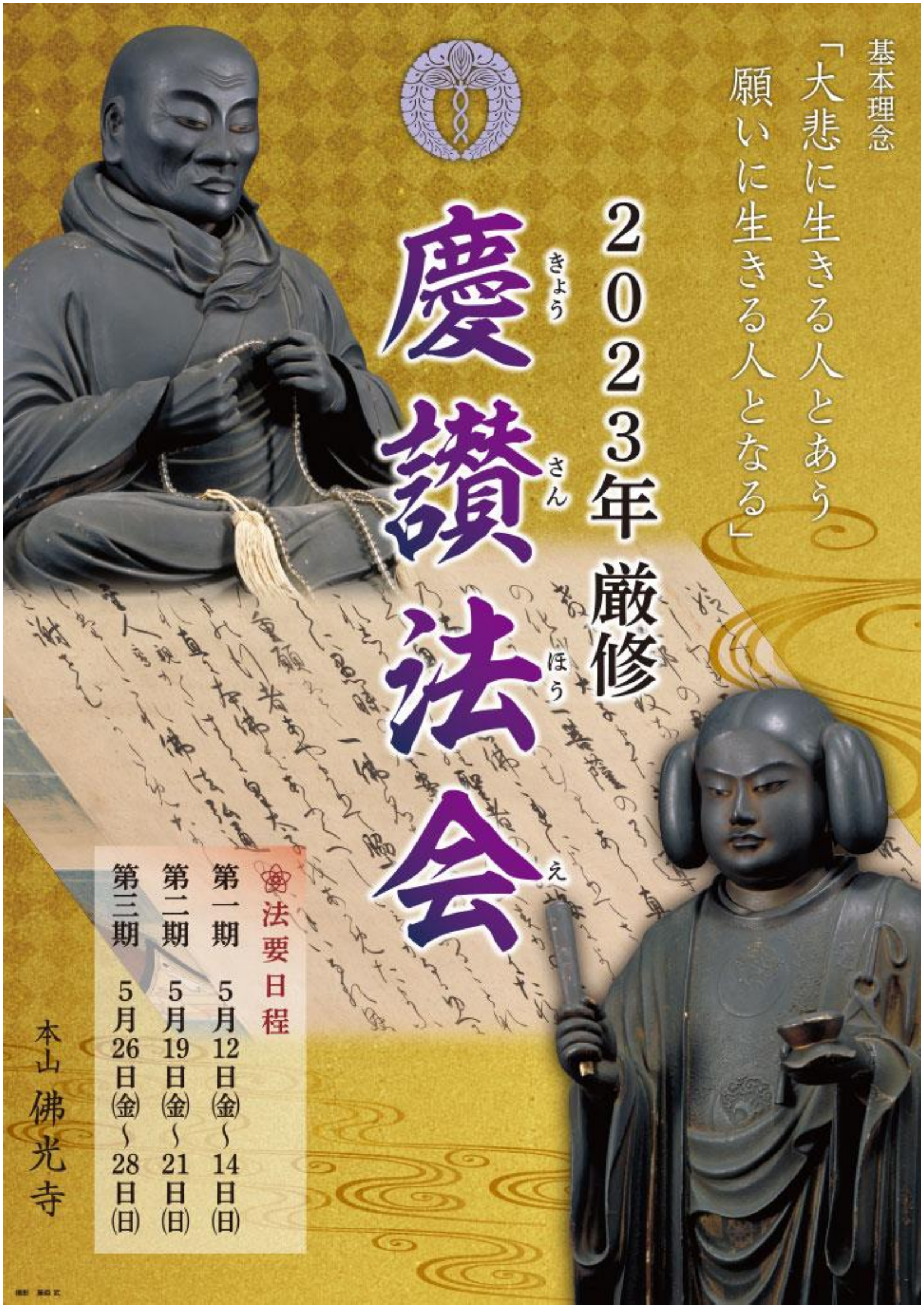
近山　統一郎氏

門徒総代
大谷　統司
平岡　悟
熊谷　一雄
唐澤　仁
近山　統一郎
武石　豊
本間　稔

世話方
松宮　一郎
武石　建夫
松居　幸彦
渡辺　忠
本多　哲夫
小林　頼雄
戸叶　精一
松井　辰義
竹之内　昇
八子　和之
加藤　達男

地区総代
観音寺
村山・境江
山岸・山崎・井田
矢作・荻野
弥彦
弥彦
走出
長崎
辰ノ口
幕島・京ケ入
本町・和納

敬称略



宗祖親鸞聖人御誕生850年法要、立教開宗800年法要、聖徳太子1400回忌法要
第33代真覚門主伝灯奉告法要の４つの法要を併せて慶讃法会といいます。
慶讃とは「慶び讃える」という意味です。新潟教区でも団体参拝を予定しております。

慶讃法会でつとまる4つの法要の意味を知りましょう

ご誕生850年

親鸞聖人は1173（承安3）年にお生まれになり、2023年に生誕850年をお迎えします。1207年から11年までを越後（現在の新潟）で過ごされます。親鸞聖人は人間として生まれた喜び深さを生涯をかけて求め、お念仏の教えを私たちに広めてくださったのです。

立教開宗800年

親鸞聖人はお釈迦様の教えが説かれた経典や、お念仏の教えを受け継いだ高僧方の著作から『教行信証』という書物を執筆されました。
その成立を親鸞聖人52歳（1224年）とみて、この年を立教開宗すなわち浄土真宗の成立の年と定めています。

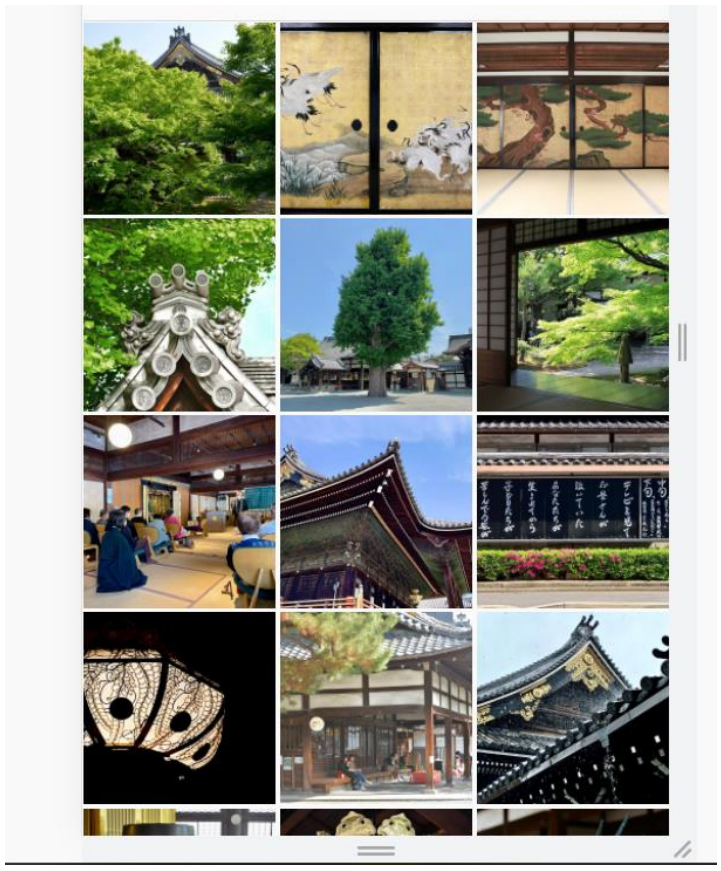
聖徳太子1400回忌

聖徳太子は蘇我馬子と共に推古天皇を支え、仏教中心の国づくりを進められました。日本に仏教を広められた功績と、仏の教えを真の拠り所として生きられた太子を親鸞聖人は「和国の教主」と敬い、和讃を作って仰がれています。

伝灯奉告法要

親鸞聖人があきらかにされた「お念仏の教え（法灯）」が、聖人から数えて33代目となる真覚ご門主に伝承されたことを仏祖の御前に奉告するとともに、「お念仏の教え」が末長く伝わり続けることを願い、おつとめされます。

新潟教区では2023年5月12(金)～14（日）の日程で団体参拝が予定されています。
詳細が決まりましたら改めてご案内いたします。



本山佛光寺はインスタグラムを開設しています。
境内の様子や日常の一コマを発信しています。
アカウントは@bukkoji.officialです。
ぜひご覧ください。

広大会の様子

今年の一月、二月の広大会は県内にまん延防止等重点措置が発令されていたため中止としました。再開できたのは三月になってからでした。

三月は修了式としてビンゴをしました。卒業する六年生には記念品としてマグカップを贈呈しています。

四月は昨年に引き続き「宝さがし」を行いました。おもちゃの金貨と宝石を百個以上隠しました。昨年よりも隠し場所に工夫を凝らしたところ、子どもたちはかなり手こずっていた様子でした。

広大会の予定

5/28(土)
　シャボン玉

6/18(土)
　本堂で遊ぼう

7/30（土）
　工作あそび

9:30～11:00頃まで

リラックスヨガ

冬季の間お休みしておりましたが、四月より「リラックスヨガ」を再開しております。今年度も毎月第三火曜夜に開催しています。

年齢・性別問わず、いつでもお気軽にご参加ください。

今後の予定

・6/21(火)

・7/19(火)

・8/16(火)

時間　19:30～20:30
参加費　1,000円
持ち物　ヨガマットorバスタオル

申込不要　お気軽にご参加下さい

2021（令和3）年度　広福寺勧金決算書

【収入の部】　単位（円）

科　　目	決算額
勧　金	3,677,000
雑　収　入	8,204
繰　越　金	357,305
計	4,042,509

【支出の部】

科　目	金　額	内　　訳
1.寺務経常費	3,671,354	
（1）負担金等	826,210	本山護持金　教区費　ともしび代 光寿堂維持管理費　本山御仏供米料
（2）事務通信費	200,224	コピー機リース代　印刷費　郵送費　用紙代
（3）会議費	43,200	世話方会議
（4）教化費	644,968	本山御使僧様法礼　報恩講・女性講法礼　聞法会補助 広大会補助　経本、カレンダー代　広福寺だより ロウソク・焼香炭等　ホームページ管理費
（5）営繕管理費	1,924,552	火災共済　消防設備保守点検　セコム　電気代　灯油代 内陣電球　スリッパ　コロナ対策用品　庭木剪定・冬囲い・ 掃除等　サッシペアガラス取替、屋根・雨樋点検修理 外灯2基取替工事（昨年度積立金より300,000充当）
（6）門徒交際費	32,200	新門徒御本尊贈呈1軒
2.積立金	0	
計	3671354	

総収入4,042,509-総支出3,671,354=371,155（次年度へ繰り越し）

2022（令和4）年度　広福寺勧金予算書

単位（円）

【収入の部】

科　目	予算額
勧　金	3,500,000
雑　収　入	1,000
繰　越　金	371,155
計	3,872,155

【支出の部】

科　目	予算額
寺務経常費	3,300,000
積　立　金	300,000
予　備　費	272,155
計	3,872,155

お知らせ

◎一万二千円の勧金のお願い

一戸あたり一万二千円の勧金をお願いしております。本山・新潟教区の負担金、寺の教学、寺務、管理営繕費となります。

◎二千円の墓地管理費

広福寺墓地にお墓がある方。勧金と同時に納入いただける方はよろしくお願いいたします。

◎九十歳・百歳のお祝い

数え年または満で九十歳・百歳になられた方に、本山から「祝詞」と「記念品」が贈られます。

ご氏名、生年月日を広福寺へお知らせください。広福寺からは額をお贈りしています。

行 事 案 内

永代経法要

6月6日(月)

午前10時 勤行
法話
正午 解散（お弁当持ち帰り）

お斎の代わりにお弁当をご用意いたします。
お参りされる方は5/31(火)までに広福寺にお申し込みください。
広福寺　0256-94-2437

法中講(浜組法中7ヶ寺)

6月23日(木)

※今年の法話は2か寺のみとさせていただきます。

午前10時　勤行
法話2席(聖徳寺様・長善寺様)
午前11時半　勤行・御書拝読
正午　解散

今年は **持ち帰りのちらし寿司** をご用意いたします。
申込みは不要です。

発行者 広福寺 〒959-0318 新潟県西蒲原郡弥彦村麓590 ☎0256-94-2437